

令和6年度 明科高等学校 学校評価表

学校教育目標				
創造 気力 友愛 を校訓に、自己の進むべき道を希求する人材の育成を目指し次の三目標を定める				
<ul style="list-style-type: none"> ○勉学に励み知性を啓発する ○心身を鍛磨し自主独立の気風を培う ○情操豊かな人間性を陶冶する 				
重点目標（中長期的目標）				
<p>地域に根ざす学校となるために、学校を開いて地域と連携した教育を推進し、地域住民・保護者・中学校からの信頼を得る。また、いじめのない人権意識の高い集団づくりをめざし、人権教育及び生徒指導の充実・改善に取り組む。そのために次のような重点目標を定める。</p> <p>(1) 積極的に学校情報を地域・保護者・中学校へ発信する。 (2) 基本的生活習慣および規範意識を生徒が身につけられるようにする。 (3) 家庭・地域・関係機関と組織的・継続的に連携し、良好な人間関係づくりと心の触れ合いを重視した教育の充実を図る。 (4) 生徒にとって居場所・学びがいのある学校づくりを進める。</p>				
今年度の重点目標				
領域	項目	評価の観点	評価	成果と課題
① 学習	社会に出ても学び続ける人になる	Step 1 学ぶ姿勢と習慣を身につける	基礎学力の定着と学習習慣を身につけるような学習支援ができたか	B 基礎学力の定着のため毎日行っている明科タイムでは、生徒が興味を持って取り組めるよう内容を工夫した。
		Step 2 学びに対する興味関心を高める	魅力ある授業を行い、学びに向かう意欲を喚起できたか	B 選択授業は少人数でも開講し、生徒が興味関心を持っている授業を学べるように工夫した。
		Step 3 主体的な学びができる	対話を重視し、生徒の主体性を引き出す学習支援ができたか	B 企業や学校も交えてグループディスカッションを行い、視野を広げ考えを深める援助ができた。
② 規律・礼儀	より良い人間関係を築ける人になる	Step 1 ルールを守る行動ができる	時間や約束を守り、基本的生活習慣を確立させる生徒支援ができたか	B 進路活動を通して、礼儀やマナー、丁寧な言葉づかいを様々な場面で生徒が繰り返し学べるよう支援できた。
		Step 2 礼儀正しく好感がもてる	挨拶・掃除を重視し、いじめのない安心安全な学校づくりを推進できたか	B 薬物防止講座や性被害防止講座、CAPプログラムの受講を通して、ルールを守り人権を尊重する学びを推進できた。
		Step 3 気づきと思いやりのある行動ができる	一人ひとりに寄り添い、生徒の変容を理解し、成長を支援できたか	B 毎朝教員が校門であいさつをすることにより生徒の変容に気づき、速やかなチーム支援につなげることができた。
③ 特別活動	社会に貢献できる人になる	Step 1 周りの仲間や大人たちとの交流を深める	家庭、地域と連携し、魅力ある、信頼される学校づくりを推進できたか	A 潮神明宮例大祭やあやめまつりなど、地域のイベントへの積極的な参加をすすめることができた。
		Step 2 協調性や計画力、表現力を伸ばす	生徒会活動、部活動を活性化させるとともに、生徒の成長に貢献できたか	B 文化祭では、企画の意見交換を行い、学年で協力しながら準備をするなど、生徒が成長できるよう工夫した。
		Step 3 リーダーシップを発揮できる	文化祭、クラスマッチ等の行事で主体的に関われるような支援ができたか	A 課題もあるが、文化祭の模擬店では、生徒が積極的に運営を行えるように支援できた。
④ 進路	なりたい自分を追い続ける人になる	Step 1 進路に興味関心を持つ・人の役に立つ喜びを知る	キャリア教育を推進し、進路意識の向上を図ることができたか	B 3学年では、大学コンソーシアム京都の方から普段聞けない観光や大学について話を聞く機会を設定できた。
		Step 2 進路の実現に向けた努力を積み重ねる	適切な情報を提供し、進路目標を定められるような支援ができたか	B 合格・採用体験発表会には2、3年生全員が参加し、早くから進路目標を定められるよう支援ができた。
		Step 3 進路希望を実現する	個々の生徒の進路目標に応じた進学支援、就職支援ができたか	A 事業所見学では、早くから準備をするなど生徒がしっかり考える時間を確保し、進路実現できるような支援ができた。